

稼働率100%を目指して ～1年を振り返って～

社会福祉法人 芦別慈恵園
くらし事業部 お客様連携係
佐々木 大典 細川 紗菜恵

くらし事業部の目標...
平成28年から取り組んできた

『入院しない身体づくり』

生活相談員として...
入院しない身体づくりの実績・評価が...

『稼働率』

取り組んできた事で学んだ事①

<防げる入院>

「脱水」「尿路感染」「イレウス」「感染症※」
※インフルエンザやノロウイルス 等

慈恵園の7つの柱である取り組みの浸透が必要！

	脱水	尿路感染	イレウス	感染症	入院者 合計
平成28年	3	2	3	0	8名
平成29年	1	1	1	1	4名
平成30年	3	0	0	1	2名

取り組んできた事で学んだ事②

お客様の体調を把握しきれない

↓
「とりあえず受診」「土日はひとまず入院」

↓
職員の安心感が生まれていた

「お客様の体調を専門職として見立てる力」で
「早めの対策」を実践できる



相談員がやるべき課題

○入院者はいつでも出る

→ 日々、意識されているかどうか。

方策) 営業(確定者作り)

○「空床」の使い道

→ 一日空床＝「マイナス1万3千円」の損失

方策) 営業(SSリポーター作り)、「段取り(準備)」

チーム力が必要

そして今年度...

○「たまに営業」の脱却、「定期営業」の体制化

病院・施設のSWと顔馴染みになる！

→入所では「確定者」を増やす。

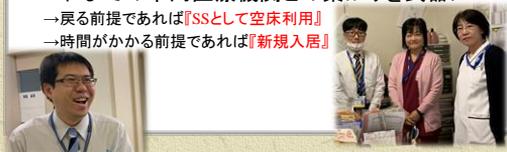
→SSでは「リポーター」を増やす。

○入院した時の判断力

これまでの市内医療機関との繋がりを武器に！

→戻る前提であれば「SSとして空床利用」

→時間がかかる前提であれば「新規入居」



取り組み実績

	H29	H30
営業数	4回	18回
空床ベット数	505ベット (従194 ユ269 か42) 損失:656万円	458ベット(見込み) (従253 ユ107 か98) 損失:595万円
入所までの平均日数(マイナス)	-10.9日 (従来-9 ユニット-16日 かざぐるま-7.8日)	-8.2日 (従来-9.4日 ユニット-9.8日 かざぐるま-5.5日)
平均稼働率	従来 98.5%	従来 98.06%
※目標98%	ユニット 97.9%	ユニット 98.6%
	かざぐるま 99.4%	かざぐるま 98.3%

考察①～定期営業の成果～

市内 から 市外へ向けた営業

○『特養=待機者ばかり』の払拭

→芦別市の現状を伝える。

→いない現状を伝える



○市外の相談員とパイプ作り

→「富良野」「滝川」とは徐々に関係性が

考察②～空きベット数～

「全職員で空床を埋める」空きベット50減

→生活相談員の素早い調整

「リーダーが先頭に立ち、
法人の方向性を理解し実行する。」



考察③

～入居するまでの日数～

10.9日 ⇒ **8.2日**

「確定者作り」の努力

→一週間以内に入所する目標設定

→ひと月「-23」という数字の見える化

数字を出す事によって段取りしやすく

稼働率の大切さを
学んでいます！



考察④～稼働率～

『12月まで目標以上の稼働率』

インフルエンザの恐ろしさ

1月:94% 2月:95%

嘱託医・協力病院医師・市内相談員の協力

垣根を超えた『芦別のチームワーク』



職員が頑張り抜けた！！！！

まとめとこれから

来年度の目標...

**社会福祉法人
芦別慈恵園
生活相談員 の役割**

For the welfare of Tomorrow...

定期営業を続けます！！！！



ご清聴ありがとうございました